

【富山県富山市・立山町】立山カルデラ砂防体験学習会



↓富山県
立山カルデラ砂防博物館Web



↑ダイナミックSABOプロジェクトWeb

大規模崩壊、砂防事業の効果を間近で見ると

←六九谷展望台
からの崩壊

↓立山温泉の橋
とトロッコ

<概要>

●イベント主催：富山県
(公財)立山カルデラ砂防博物館

●施設管理者・事業実施協力：
国土交通省 立山砂防事務所

●旅行企画・実施：民間事業者

●概要：

- ・富山県と(公財)立山カルデラ砂防博物館が実施主体となり、博物館が開館した、1998(平成10)年から実施している。
- ・立山砂防事務所の工事専用軌道(トロッコ)に乗って、立山カルデラと砂防堰堤などの砂防関係施設を巡るツアーを主催し、実施している。

●参考URL：

<https://www.pref.toyama.jp/1505/hakubutsukan/2023taikentorokko2.html>

工事専用軌道(トロッコ)に乗って、
砂防事業の困難さを体感！



国の重要文化財や、石積みによる
歴史的で空間美のある砂防堰堤！

西ノ谷堰堤



泥谷砂防堰堤

【富山県富山市・立山町】立山カルデラ砂防体験学習会 解説

<役割などの解説>

- (公財)立山カルデラ砂防博物館(イベント主催、指定管理者)
 - ・(公財)立山カルデラ砂防博物館は、富山県立山カルデラ砂防博物館の指定管理者である。
 - ・砂防博物館は、立山の自然及び火山活動とその後の侵食によってつくられた「立山カルデラ」や、富山平野を土砂災害から守るために100余年にわたり続けられている砂防事業を、広く一般の方に知っていただくための役割がある。
 - ・また、「立山カルデラ」を博物館にとつての野外ミュージアムと位置付けしており、富山県と共に、立山カルデラ砂防体験学習会のイベント主催者となっている。
 - ・各箇所の説明・ガイドは、博物館職員、NPO法人富山県砂防ボランティア協会(元県職員)及び立山・神通砂防スペシャルエンジニア(元国土交通省職員)が中心となり実施している。
- 民間事業者(旅行企画・実施、バス運行等)
 - ・砂防博物館から、旅行企画・実施及びバスの運行業務の委託契約を受け、運営に参画している。
- 国土交通省立山砂防事務所(施設管理者・事業実施協力)
 - ・事前相談を含めて、見学の可否、見学にあたっての留意事項等について、協議する。
 - ・工事専用軌道であるトロッコに参加者を乗せて運行を行っており、トロッココースの催行に際して、職員を同行させている。

<注目ポイント>

- ・ツアーでは、立山砂防事務所の工事専用軌道(トロッコ)を使用し、常願寺川沿いの急峻な山道を8か所38段のスイッチバック、12のトンネル、18の橋を渡り、約18kmを移動し、砂防施設、立山カルデラの壮大さを間近で見ることができる。
- ・また、トロッココースの他に、バスコースも実施しており、年間であわせて1,500名程度の参加者枠を設けている。(※コロナ禍以前)
- ・国重要文化財として指定されている「常願寺川砂防施設」である白岩堰堤砂防施設(平成21年指定)、本宮堰堤、泥谷堰堤(平成29年に追加指定)を実際に、現地で見ることができる。
- ・「日経トレンドィ」2023年7月号「死ぬまでに行きたいインフラランキング」第3位

<実施体制の概要>

